

Research Showcase



東北大学オープンイノベーション事業戦略機構では、企業と大学の共創のきっかけを提供する場として“東北大学Research Showcase”を企画し、本学の研究リソースを紹介しています。今回は、3回のセミナーシリーズ『NanoTerasu活用の未来に向けて：バイオ・ソフトマテリアルの視点から』の第一弾です。本学キャンパス内に設立された第四世代放射光施設“NanoTerasu”で視た“バイオマテリアルと水”をご紹介しますとともに、NanoTerasu活用の可能性についても議論します。

日時

2026年 5月 27日 (水) 18:00-19:10

演題

セミナーシリーズ (3回予定)

“NanoTerasu活用の未来に向けて：

バイオ・ソフトマテリアルの視点から”

第1回：バイオマテリアルと水をNanoTerasuで見る

発表者

原田昌彦

東北大学大学院農学研究科放射光生命農学センター(A-Sync)

/東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター (SRIS) 教授

日高將文

東北大学大学院農学研究科A-Sync/東北大学SRIS 准教授

原田慈久

東京大学物性研究所 教授、東北大学SRIS/農学研究科A-Sync 客員教授

会場

オンライン開催 (zoom webinar)

事前
登録制

https://zoom.us/webinar/register/WN_7apggSfIR5aIdz2Ro0WykQ

から申込をお願いいたします。

※参加費は無料です。

またはQRコードをご確認下さい▶



受付

お申込み多数の場合、アクセス数との関係でご参加いただけない場合がございます。あらかじめご了承ください。

主催：東北大学オープンイノベーション事業戦略機構

<https://oi.tohoku.ac.jp/>



セミナーシリーズ “NanoTerasu活用の未来に向けて：
バイオ・ソフトマテリアルの視点から” –第1回–

バイオマテリアルと水をNanoTerasuで見る

【紹介内容】

3GeV高輝度放射光施設NanoTerasuが位置する東北地域は日本の食料生産拠点であり、様々なバイオマテリアルに富んでいます。また、NanoTerasuが東北大学キャンパス内に位置していることから、生命科学系部局・研究所による施設活用も期待されています。その中で大学院農学研究科はNanoTerasuに最も近接した生命科学系部局であり、食品・農産物やモデル生物の研究へのNanoTerasu活用に向けての取り組みを推進しています。この取り組みの加速のため、2019年に放射光生命農学センター(A-Sync)が設立されました。

本ウェビナーでは、A-Syncの取組やNanoTerasuでの測定・研究成果、またバイオマテリアルや食品の機能、さらに生命活動に重要な役割を果たす「水」の軟X線分光解析を紹介するとともに、バイオマテリアル、ソフトマテリアル研究領域でのNanoTerasu活用の可能性についても議論します。

コンテンツ

18:00 はじめに：武田全弘 東北大学 OI事業戦略機構 特任教授

18:05 Topics：



原田昌彦

東北大学大学院農学研究科放射光生命農学センター(A-Sync)
/東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター(SRIS) 教授
バイオ・農領域でのNanoTerasu活用に向けた
農学研究科の取り組み



日高将文

東北大学大学院農学研究科A-Sync/東北大学SRIS 准教授
農・食分野からアプローチするNanoTerasu研究



原田慈久

東京大学物性研究所 教授、東北大学SRIS/農学研究科A-Sync 客員教授
界面機能を制御する水の軟X線分光解析

18:50 Discussion

お問い合わせ

- 東北大学オープンイノベーション事業戦略機構
- 担当： 武田、大島
- Email：oi-event@grp.tohoku.ac.jp

主催：東北大学オープンイノベーション事業戦略機構

<https://oi.tohoku.ac.jp/>